



11月 給食だより

きゅうしょく
給食では「地産地消」を推進しています!

ちさんちしょう 「地産地消」という言葉をご存じですか？
ちいきせいさん 地域で生産された農林水産物（地場産物）を地域で消費する取
くり組みのことで、食料自給率の向上をはじめ、地域活性化や、環境保護への貢献など、さまざまな効果が期待で
きます。学校給食では地場産物の活用を通して、子どもたちへ地域の食文化や産業について伝えるとともに、生産
しゃたもの かんし きも はぐく
者や食べ物への感謝の気持ちを育んでいきたいと考えています。



いい歯を保ち、
食事をおいしく
食べよう

11月8日は「いい歯の日」です。健康な“いい歯”を保ち、食事をおいしく食べられるように、以下のことに気をつけましょう。



令和4年度

調布市立染地小学校

校長 大柳 ひろみ

栄養士 小野寺 加代

11月の献立紹介

30日：ぬりかべトースト

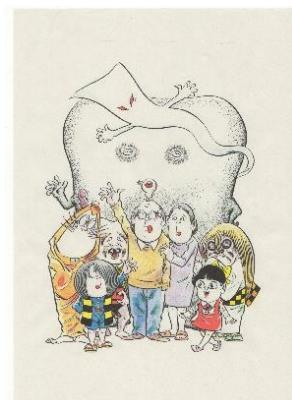
～水木マンガの生まれた街 調布～

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である漫画家・水木しげるさんは調布市の名誉市民です。

鳥取県境港市で育ち、昭和34年から93歳で亡くなるまでの56年間を調布市で過ごしました。

調布市では、水木しげるさんの功績を称え命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」とし、様々な催しが行われています。

そこで、染地小学校でも「ゲゲゲ忌」にちなみ、11月30日の給食にぬりかべトーストを出します。お楽しみに！



マンホール



鬼太郎ひろば



©水木プロ